

しよ とく

「書牘」の時間

1時限目	10月2日(水)	「年賀状」
2時限目	9日(水)	「歳末賀状」
3時限目	16日(水)	「婚姻祝儀状」
4時限目	23日(水)	「出産祝儀状」
5時限目	30日(水)	「寒中見舞状」

先生 梶田航平
(当館学芸員)

いずれも午後1時30分から60分間

書牘とは、日常の手紙文の書き方を学ぶ科目です。
江戸時代の往来物の流れを汲んでいます。
授業では、その中から5種類の文例を取り上げます。
※5時限全部を受けた方には修了証を授与します。

- 定員 各回30名
- 申込み 電話または当館受付まで
電話 072-469-7140
- 受講料 無料
- 持ち物 授業のメモをとれるもの、筆記用具

書牘日用文緒言
方今通用の往復書簡ハ男女を分ち男ハ都て顛倒語を用ゐ
女ハ楷書下しを用ゐる来れり然れとも今日に在て男女文を
異にする時ハ日常交際上に於て障礙なきこと能はず故に
此書ハ男の文の顛語と女の文の無用の辞とを改めて男女
を通し同く書下しの体裁に定めたるなり・・・

(『書牘 日用文』明治七年八月翻刻文部省 より)